

薬事功労者厚生労働大臣表彰候補者推薦要領

第1 推薦基準

候補者の推薦は、次の基準により選考すること。

1 個人の推薦について

(1) 次のいずれかに該当する者。

ア 優秀な医薬品等の発明、発見、国産化又は輸出の増進等に功績のあった者

イ 薬事衛生の普及又は向上に特に功績のあった者

ウ 薬事行政に協力し、特に功績のあった者

エ 薬事関係取締業務に関し、特に功績のあった者

オ 薬事関係業界の指導育成に特に功績のあった者

カ 試験研究施設において、職員として当該施設の目的とする業務に精励した者

(2) 55歳以上の者であること。ただし、前記カに該当する場合は、50歳以上の者であること。

(3) 候補者は、原則として都道府県知事の表彰を受けたことのある者とする。

(4) 過去において、生存者叙勲を受けた者、薬事関係の功労により褒章条例に基づく黄綬、藍綬褒章を授与された者、厚生労働大臣表彰を受けた者及び保健文化賞を受けた者は、推薦対象から除く。

(5) 候補者は、医薬品関係者のみならず広く全般にわたる薬事関係者の中から選考すること。

2 団体の推薦について

団体の推薦に当たっては、前記の個人推薦基準に基づいて行うこと。

第2 推薦人員

候補者の推薦は、個人2名以内、団体2件以内とする。

ただし、北海道、神奈川県、愛知県は3名、東京都、大阪府については4名以内とする。

第3 提出書類

提出書類は、次のとおりとし、左とじにして1部提出すること。

- 1 具申書（厚生労働大臣あてとし、各人毎に別紙とすること。）
- 2 功績調書（別紙様式第一）
- 3 履歴書（別紙様式第二）
- 4 団体の規模及び事業概況等（別紙様式第三）
- 5 薬事功労者厚生労働大臣表彰推薦者名簿（別紙様式第四）
- 6 審査票（別紙様式第五）
- 7 表彰候補者調（別紙様式第六）
- 8 法人の定款、寄付行為、規則、統計資料、刊行物、著書目録等候補者の功績を判断するうえで参考となる資料。

第4 異動報告

書類提出後本人の身分等に変更のあった場合には、直ちに厚生労働大臣あて報告すること。